

校報 ふれあい

第298号
R4. 6. 20発行
発行者
雲南市立田井小学校
校長 井上 孝弘



プール開き間近

全校児童13名でスタートをしました令和4年度の1学期も残すところ4週あまりとなりました。7月20日(水)の終業式を気持ちよく迎え、元気に夏休みを過ごすためにも、これまでの学校生活や学習のまとめをし、自分自身を振り返る大切な時期になりました。

そして、例年より遅い梅雨入りとなりましたが、暑さも本格的になりつつあります。そのような中、6月27日(月)にはプール開きを行う予定です。今年度も、コロナ禍のため、制限の多い水泳指導になりますが、子ども達が気持ち良さそうに水に親しむ姿がたくさんみられると思います。

プール掃除

6月8日(水)に全校児童でプール掃除を行いました。4年生以上が大プールを、3年生以下は小プールを担当しました。少ない人数で大変でしたが、約2時間の作業の末、見違えるほどきれいなプールになりました。

7名の地域の方にもお手伝いいただき、本格的な高圧洗浄機の助けもあって時間内に終わることができました。ありがとうございました。



DC授業実践

昨年度の3学期から市内全小中学校で一人一台の学習用タブレット端末の活用

【GIGAスクール

構想】が始まりました。本校でも授業中はもちろん、家庭に持ち帰るなどして積極的に活用を進めており、その様子は、校報やホームページでも紹介しているところです。

そして、その活用にあたっては、昨年度の「開封の儀」の時に全校児童が確認したように、「テクノロジーの良き使い手となって毎日の生活や学びをより良くしていくこと」が大切になります。そのために、市内全小中学校では、DC(デジタル・シティズンシップ)授業を進めており、今回は、鳥取県デジタル・シティズンシップエドゥケーターの今度珠美先生にお越しいただき、全学年で授業をしていただきました。

1・2年生は、パソコンを使う際に、起こりうる様々なトラブルに対して、その対応の仕方を考えることを通して、パソコンと上手に付き合うための方法を学ぶことができました。

3・4年生は、インターネットという公共空間での、ひとりの行動が持つ影響について考えることを通して、自分に対する責任だけでなく、他者や広い世界の人に対する責任を学ぶことができました。

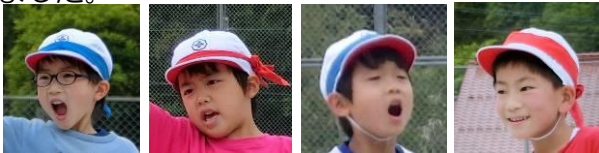
5・6年生は、「ネットいじめ」とは何か、その定義や特徴を学ぶことで、問題に立ち向かうために必要な方法を考え、行動できる人になりたいという思いを持つことができました。

今年度は、こうした学習を後2~3回実践する予定にしています。





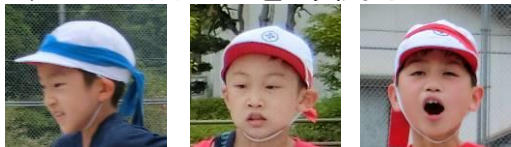
5月20日（金）、「ふれあい運動会」を開催しました。予定通り10時に入場行進がスタートし、開会式では、5年生の一真さんが大会スローガン「**1人1人が全力で 最後まであきらめない めざせ！優勝だ！！**」を堂々と発表しました。堀江審判長の演技上の注意の後、6年生2人の選手宣誓、6年生の奏美さんが代表を務めたラジオ体操と続き、その後競技が始まりました。



短距離走は1・2年生が80m、3年以上は100mを全力で走り切ることができました。

次のダンスは、4月から練習してきた成果をしっかりと発揮できるものになり、保護者の皆様にも協力いただき、とても賑やかな時間になりました。続けて、「障害物リレー」も保護者の皆様の協力で楽しい競技となりました。

そして、全校種目「ダンシング玉入れ」は、曲によって、ダンスと玉入れを切り替える種目であり、見る側は楽しく応援することができましたが、やっている子ども達は真剣そのものでした。



その後、お弁当休憩をはさんで、「応援合戦」となりました。今年度から、「ゴーゴーの歌」も含めて、赤組と青組が共に作り上げる「応援合戦」となりましたが、田井小ならではの伝統を感じる種目であることには変わりありませんでした。少人数であるが故の子ども達一人一人の役割の大きさ、そしてそれに精一杯応えよ

うとする一人一人の姿、中規模や大規模の学校では見ることのできない「**自信**」あふれる子ども達一人一人の姿を今年も見ることができました。



ラストも全校種目の「色別リレー」です。順位が目まぐるしく入れ替わり、最後は6年生によるデッドヒートとなりました。決着した時の子ども達の悔し涙ややり切った表情がとても印象に残りました。

閉会式の中で、6年生の妃奈さんは『私たちは、これまで「**準備と練習**」をがんばってきた。みんなで力を合わせてがんばったからいい運動会になった。』と語ってくれました。まさにそのとおりであり、子ども達が4月から積み上げてきた「**準備と練習**」を「**1人1人が全力で、最後まであきらめない**」ことで発揮できた運動会になったと思います。そして、和泉PTA会長のお話にもあったように、運動会での経験を生かし、今後も「**自信**」をもって様々な活動をしてほしいと思っています。



ただ、それまでには、「できないこと」や「うまくいかないこと」など様々な困難があったと思います。自分一人の力や仲間と力を合わせることで乗り越えたこともあったと思いますが、保護者の皆様のお力も大きいものがあったと思います。「**準備と練習**」のために疲れ切って帰ってくる子ども達の心と体に、毎日毎日「**エネルギー**」を注入していただけたことで乗り越えられたことも多かったはずです。また、今年度は、お弁当休憩のための準備や朝の会場準備、そして、即興の保護者種目などもお世話になりました。ありがとうございました。

さらに、昨年度までの2年間は、コロナ禍の影響で保護者の方のみをお招きする運動会でしたが、今回から制限を少し緩和しました。それによって、より多くの家族の方や地域の皆様に応援していただくことができました。大変ありがとうございました。

吉田コミュニティ・スクール

5月26日(木)、吉田中にて今年度第1回の吉田コミュニティ・スクール学校運営協議会が行われました。

吉田コミュニティ・スクールの目的は、



「吉田を愛し、心豊かに、たくましく生きる子ども」

というめざす子ども像の育成にあります。ではそのために何をするのか。それは、協議会要綱の第2条に記されているように

①保小中の一貫・連携した保育・教育を行うこと

②学校・保育所と家庭と地域の連携・協働を進めていくこと

この2つが目的を達成するための大事な手段になると思います。そして、その手段を具体的に進めていくために、吉田中校区では、

「吉田中校区夢発見プログラム」の実践と

「教職員の集い」での活動を柱にしています。

「吉田中校区夢発見プログラム」は、地域社会と連携しながら地域資源を活用したキャリア教育・ふるさと教育の保小中と一貫したプログラムとなっています。その中で、「外国語教育の充実」「たたら・炭焼き、森林学習」「スキー教室」「合唱」を

「吉田中校区で大切にしたい4つの柱」として、特に小中の一貫した取組として行っています。

「外国語教育の充実」につ

いては、過去の文科省の研究指定を引き継ぎ、英語教育に力を入れているものです。普段の学習はもちろんのこと、小学校3年生から中学校3年生までが、毎年英検を受験できることも特徴であり、子どもの数が少ないという小規模の良さを生かした取組みだと考えています。



「たたら・炭焼き、森林学習」

については、まさに吉田ならではの地域資源を活用した学習になっており、



地域の皆様のご支援を受けながら進めているところです。今年度は、5・6年生がたたらを学ぶ年度となっており、田井小と吉田小が合同で交流しながら学習を進めています。

「スキー教室」について

は、各学校で、全校をあげてスキー学習を行っています。今年度から田井小と吉田小は合同で行う予定にしています。全校をあげての活動で9年間、毎年スキーに親しむ学校はなかなか見られず、吉田ならではの活動だと思います。



「合唱」についても、各

学校で、全校をあげて合唱及び音楽活動を行っています。今年度も、コロナ禍の影響で雲南市の連合音楽会は中止となりましたが、吉田中校区では、11月ごろ、町内音楽発表会を開く予定にしています。スキー教室同様、9年間全校音楽に取り組めることは、吉田中校区ならではの取組だと思います。



「教職員の集い」につい

ては、保小中が一貫・連携した保育・教育を行っていくために我々教職員がつながり、連携し、協働していく場であり、年に3回、全体会や研修会、部会を行います。特に、部会の活動は、教職員が各保育所・学校からそれぞれの部会に所属し、活動するもので、一貫・連携した保育・教育の推進の核であると考えており、今年度から「連携啓発部」「学力育成部」「人権・同和教育部」「養護部」「事務部」の5つの部会に分かれて活動しています。今年度第1回の教職員の集いについては、コロナ禍の影響のため全体会は中止したのですが、後日、部会だけはオンラインで実施しました。



今年度も「吉田を愛し、心豊かに、たくましく生きる子どもたち」を育てるために、「保小中の一貫・連携した保育・教育」と「学校・保育所と家庭と地域の連携・協働」を進めていきたいと考えています。その様子については、校報・ホームページなどでお伝えし、多くの皆様からのご意見をいただきましたと思っています。ご理解とご支援のほどよろしくお願い致します。

4本柱「外国語教育の充実」

「吉田中校区で大切にしたい4本柱」の一つは、「外国語教育の充実」であるとお伝えしました。その取組については、5・6年生が週2時間学習する「外国語科」と、3・4年生が週1時間学習する「外国語活動」が中心になりますが、1・2年生は、学期に1回程度の「国際交流活動」で、外国の様子や遊び、言葉などに親しむ学習を行っています。

《国際交流活動》

1学期は、6月1日（水）に市役所からスーキパチェコ ジャン ポール国際交流員に訪問いただき行いました。

ジャンさんにアメリカ合衆国やベネズエラのことを教えてもらいました。アメリカ式のドッジボールも教えてもらい、一緒に楽しむことができました。



4本柱「たたら・炭焼き体験」

「たたら・炭焼き体験」も「吉田中校区で大切にしたい4本柱」の一つです。今年度は、5・6年生がたたら体験学習を吉田小と合同で進めています。

《小だたら操業見学》

5月24日（火）には、鉄の歴史村地域振興財団さんのご指導により、菅谷たたら山内と鉄の歴史村博物館、たたら鍛冶工房の見学を行うことができました。たたら鍛冶工房では、実際に火を入れ、ふいごを使って空気を送る工程を体験することもできました。実際に目にしたり、触れたりすることで、2学期から本格的に始まる体験学習への関心を高めることができました。



今月もご支援ありがとうございました

この1ヶ月の間も多くの地域の方に学校に来ていただき、子ども達の「よりよい成長」を支えていただきました。ありがとうございました。

《田植え》

5月25日（水）には、サンライス 深野のみなさんのご指導・ご支援のもと、5・6年生が、田植え体験をすることができました。4月の稲の種まき体験に続く、米づくり体験の第2弾となりましたが、慣れない田んぼでの作業に悪戦苦闘といった様子でした。



《稚魚の放流》

5月18日（水）には、斐伊川漁協の方のご指導のもと、1・2年生が深野川でウナギの稚魚の放流を体験することができました。4月の鮎の稚魚に続く、今年度2回目の放流になりましたが、すぐに岩陰に隠れようとするウナギの様子をしばらく観察できる学習にもなりました。



今後の主な行事予定（～7/31）

<6月>

- 27日（月） プール開き
三浦スクールカウンセラー来校
- 28日（火） 全校合唱指導
- 30日（木） 食の学習（中学年）

<7月>

- 1日（金） 授業公開日 校内音楽発表会
救急蘇生法研修
- 12日（火） バースデー集会 防犯教室
- 13日（水） 食の学習（低・中学年）
- 14日（木） デジタル紙芝居
- 18日（月） うんなん家庭の日
- 19日（火） お話を楽しむ会 給食最終日
- 20日（水） 終業式
- 25日（月） 家庭訪問

お知らせ～ホームページ更新～

今年度も、ホームページの更新を行っています。たくさんの方にご覧に頂けると嬉しいです。

「雲南市立田井小学校」で検索し、ぜひご覧ください。